

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
<b>地方自治・地方行政</b>		
2040年生き残る自治体！ 県市町村連携で人口減少に打ち克つ奈良モデル	小西砂千夫	学陽書房
全国市町村要覧 令和3年版	市町村要覧編集委員会 (編)	第一法規
包括的な支援体制のガバナンス 実践と政策をつなぐ市町村福祉行政の展開	永田祐	有斐閣
<b>教育</b>		
コンメンタール教育基本法	日本教育法学会(編)	学陽書房
家庭と地域の連携でめざす 子ども虐待予防 新しい実践ストラテジー	上田礼子	ミネルヴァ書房
<b>その他</b>		
数字でみる港湾 2021	国土交通省港湾局 (監)	日本港湾協会
日本の食と農の未来 「持続可能な食卓」を考える	小口広太	光文社新書
公務員の議会答弁言いかえフレーズ	森下寿	学陽書房
公務員の動画作成術	佐久間智之	学陽書房



シンプルデザイン！ピクトグラム



12月になりました。夜になるとイルミネーションが点灯され、とてもきれいです。  
さて、ちょっと視点を変えて周りのことを見てみると、トイレ、エスカレーター、駐車場など、一目でその場所が分かる絵記号のピクトグラムがたくさんあることに気がきました。ピクトグラムは、デザインがとてもシンプルです。そんなピクトグラムが普及し始めたきっかけは、1964年の東京オリンピックだったそうです。選手や観戦する人が世界中から来日するため、言葉が分からず行き先などが混乱しないようにするための気配りから作られたそうです。文字で書かれていた公共施設の案内板などをピクトグラムに変更し、オリンピックの競技種目もスポーツピクトグラムとして考案されました。これは、世界的にも初めてのことだったそうです。以後、オリンピック開催国独自のデザインで、競技種目を表したスポーツピクトグラムが作られるようになり「絵文字の国際リレー」と呼ばれています。東京1964オリンピックでは、シンプルで一目見て競技種目が分かるピクトグラムでしたが、東京2020オリンピックではそれに動きが加わり、進化したものとなっています。

スポーツピクトグラム以外にも、食育に関するものや感染予防など、たくさんのピクトグラムがあります。

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない中、和歌山市議会では、マスクの着用、手指の消毒のほか、会議中はおおむね1時間に1回休憩をとり、こまめな換気をするなど感染防止に努めています。また、インターネット議会中継の合間には、厚生労働省のピクトグラムを用いて感染予防対策を呼び掛けています。議会中継をご覧の際は、ぜひ確認してくださいね。

